

い つまでもお元気で

〜百歳を迎える方をお祝い〜

敬老の日にあわせ、町内各地で祝賀行事が行われました。今年度町内で百歳を迎える7人の方に、内閣総理大臣からの祝状や銀杯、町から記念品が贈られ町長が伝達しました。

このうち百歳を迎えた野口光子さん（市山）は、長生きの秘訣は「毎日規則正しい食事をすること。朝の体操は欠かしませんし、趣味の布絵づくりも楽しんでいきます」と話してくださいました。

赤井鹿代さん（朝金）は、デイサービスに週4回通い、他の利用者の方との会話を楽しんでおられます。「人との会話が大好きで、笑顔を大切に毎日を過ごしています」と話されました。

【今年度百歳を迎えられる方】
石口 静代さん（阿賀）
吉村 定代さん（西）
野口 光子さん（市山）
赤井 鹿代さん（朝金）
濱脇ヨシ子さん（落合）
赤井はや子さん（落合）
梅原 純子さん（天萬）



野口さんの趣味は布絵。現在も創作活動進行中です



笑顔が素敵な赤井さん

神

話の泉、歴史の水に選定される
〜清水井が「因伯の名水」に選定〜

南部町清水井が「とっとり（因伯）の名水」に選ばれ、8月31日に平井知事より選定証を授与されました。

「因伯の名水」とは、鳥取県が独自に制定しているもので、水に対する意識の高揚と、優良な水環境が将来にわたって保全されることを目的に、「暮らしの中の泉」、「ふれあいの水辺」、「歴史の水」、「ふるさとの溪流」の4分類に区分されています。

今回は新たに清水井を含む6か所が選定され、清水井は鳥取県の歴史や伝説にふさわしい故事来歴を有する「歴史の水」として選ばれました。



授賞式では坂本町長が清水井のPRを行いました

夢

があるから強くなる！
〜JFAこころのプロジェクト「夢の教室」開催〜

9月17日、日本サッカー協会（JFA）と南部町が、「JFAこころのプロジェクト」の実施に関わる協定を結び、17日に南部中学校、18日には会見小・会見第二小学校で「夢の教室」が開かれました。今回は、元Jリーガーで現在は解説者として活躍する宮澤ミシエルさんが講師を務め、チャレンジすることの大切さを子どもたちに伝えました。

この取り組みは、日本サッカー協会が夢を持つことやそれに向かって努力することの大切さを伝えることを目的に、2007年からスタート。プロスポーツ選手などが「夢先生」となり「夢の教室」と題した授業を行うプロジェクトで、10月には西伯小・法勝寺中学校でも行われる予定です。

会見小5年生（37人）の授業では、宮澤さんと一緒に体を動かしながら、仲間との協力、思いやる心を学びました。また幼少時代のいじめ、ケガでの入院がきっかけで友達ができなかった事などの体験を話され、「人には必ず輝く部分がある。頑張れるものを見つけてチャレンジしてほしい」とメッセージを送られました。



みんなで目的に向かってチャレンジ！



宮澤さんの熱い授業に子どもたちも真剣でした